

## 地域密着型サービス評価の自己評価票

( ☐ 部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	自然・地域と統合した人間として幸せな生活。を理念とし、実現化に向けて日々積み重ねている。	当分の理念は、開設当初からの法人の思いであるが地域密着型と、思いを同じくして老人介護とはそうあるべきと思いますます思いを重くしている所です。
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	理念の掲示(日誌・額への掲示)話し合いを行っている	カンファレンス等職員会議の時間を多く持ち前向きに意志の共有を目指している。
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	掲示・説明・報告を行うことで、理解を促している	
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	地域の隣人との挨拶・お散歩されている方への声かけを行うよう努めている。	努力しているが受け入れていただく部分に難しい所も相変わらずあるが特に、職員が自ら進んで行ってくれている。
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	地域参加に積極的参加に努めている	少しづつだが、以前より地域参加が増加の傾向にある。今後もどんどん努めていきたいと考えている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	何か共同で出来る事があれんばの模索、検討中です。		現在、土曜に行われる公園サロンの参加など、出来る部分は努力している。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員への評価への閲覧・協力を促すことで、参加することの意義を理解し具現化に生かすために努めるよう話し合いを行っている。		前評価を元に現サービスの向上へのてがかりとしている
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	本会議・ミーティング等において、イベント時等に今までの経験を生かすようまた、新しい発見を重視するよう努めている。	○	近隣住民の協力が向上しているため更なる発展に努めている
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	月1回、相談員の受け入れを行っている。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	成年後見人制度についてのセミナー参加を検討。また、現在成年後見人制度対象者についての協力を惜しまず進めている。	○	現利用者に成年後見人の対象となった利用者がおり、利用者・後見人・役所・当施設の協力体制に尽力することに努めている。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	事例はないが、正しい理解を含めマニュアルを作成し話し合いを行うよう努めている。今後セミナー参加を検討している。	○	スタッフのミーティング時に話し合える環境をもうけるよう努めている。近々、内部研修予定。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分な説明を行えるよう、また、質問等を行える時間を設けるよう努めている。		契約時説明に努めている。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	第3者機関の受け入れを行うことで、今後のサービスの向上への期待を持っている。		
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	会所当初より各利用者家族宛のそれぞれ個別の報告書を毎月発行しており、また訪問時には近況の報告を行うよう努めている。	○	近況報告はもとより電話、来所時、報告に努めている。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	当事業所にて苦情・相談窓口としての機能を確保し、契約時にその旨を説明と書面での説明(重要事項説明)を行っている。また、外部機関への相談についても説明を行っている。		個別の対象・個別のケースに合わせた相談に応じている。迅速な返答と対処に努めている。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	常時、受け付けており、また会議・ミーティング・職員間の報告ノートにて、よりよいサービスへの意見や提案を具現化する機会を作るよう努めている。		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	常時の話し合いは、勿論のこと。日程表の作成及び、勤務への調整をそのつど行い。会議・ミーティングにて、反映に努めている。		
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	同じ職員が、なじみの顔として勤め、各職員の勤務の時間帯の安定を図るよう努めている。		近隣に在住している職員が比較的多く、異動が少ない。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修の報告・掲示を行い、各職員の希望に応じれるよう計画している。 指導・教育・研修に努めるよう努力している。	○	掲示と声かけによるセミナー参加への促しを行っている。 職員からの要望による新たな研修の必要性等を引き出すよう努めている
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業施設(グループホーム)との意見交換を2ヶ月に一度行い、また他同業者(他サービス事業者)との協力を努めている	○	地域包括支援事業所・宇治市内特養・ケアハウス等との協力するよう努めている
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	労働時間についての検討(公休)、人員の配置や、声かけによりストレスの軽減及びリフレッシュを行える環境づくりに努めている。		
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	目的・意義についての話し合い等の場をもうけるよう努めている。		本部会議
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	初回情報収集についての書式を作成し、普段の生活の情報・ニーズの聴取に努めるようにしている	○	ケアプランの作成時や訪問時に家族から、普段の生活の中利用者から情報を聴取し、職員間で共有できるデータづくりに努めている。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	見学时、グループホームとはどんなサービスなのかという説明と家族が抱える問題点や不安感を聴く時間と答える時間をもうけている。		家族の思いはなかなか計りしれない所が有るが、入所後の家族離れの思いを持っていただかないよう努力している。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	そのケースによるが、状況次第では、他のサービスについての説明を行うこと、利用者の現在必要としているサービスは何なのかというサービスの抽出への助言について話し合いを行う時間をもうけている。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	当日の体験・一時利用・一時帰宅の対応を行っている。 例:週末の家族の元への帰宅等。		短期利用対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一日の生活の中での生活支援を目的とし、協力の促し、実際参加を主とするよう努めている。	○	自身で行えることを援助しすぎない(介護予防)を主とするよう努めている。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	行事・イベント時の家族の参加が増えており、その為に必要となる支援を行っている。		現在、イベントの家族の参加は良好である。参加だけでなく、本人様に思いが向けられる様、会話など実行している。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	利用者・家族の意向を汲み、話し合う時間と実践していただく時間作りに努めるようにしている。		用事が無くても、来所いただきお話いただける。環境づくりに努めていきたい。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	更なる継続と向上に努めている。		今後も現在の関係を大切にしていきたい
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士のペア。各利用者の複数の関係構築に尽力している		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所時及び退所後の支援・相談の対応を行うよう努めている。		利用者退所後の家族の電話・来園時の協力についての説明。 また、利用者外でも相談者への相談は随時行っている。
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
<b>1. 一人ひとりの把握</b>				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	希望を言える環境づくりに努めている	○	具現化への援助・反映ができるよう話し合いと実行に努めている。本人本位は当然であり心がけている。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメント・モニタリングにて、普段から聴取していた情報を具体的に反映するように努め、家族からの収集も継続し行っている		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	月1回の総合カンファレンスを通じ介護計画に反映するようにしている		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	聞き取り、見直し修正を繰り返し行うことで、ニーズに合った介護計画を作成するよう努めている。	○	ケアプランを現場で活用する際チームで介入する努力に努めている。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状況の変化による、見直しを行い。改善・向上に努めている。	○	より向上に努めていく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の記録とファイルの作成により対応		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	改善・向上に努めているが、当事業所だからこそ出来る事を考えるようにし努めている。	○	グループホームだからこそ出来ることはないか、ということのを常々考えるようにしている
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	参加・受け入れ、またこちらから出かけている	○	今後は、当事業所が地域資源として活用していただけるようにしていきたい
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	他同業者(他サービス事業者)との協力を更に向上させるための指針を検討中である。	○	ディサービス・居宅支援事業所・特養・ケアハウスとの更なる交流を検討中。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターの協力・行事参加に努めるよう努力している		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療の自由は尊重し、今までのかかりつけ医を大切にしている。また現、当施設の主治医についてもご理解いただけるよう、間に入り説明及び協力を努めている。	○	現在も努力してきているが見落としの無い様、健康管理につとめていく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	家族にて自由診療を行っていただいているが、必要に応じ、専門医の診察を行っている	○	また、現在、認知症に特化した専門医の受診を行うようにしている
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	当施設看護職及び主治医看護師との話し合いを密に行うよう努めている。		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	退院に関しての受け入れ体制、の報告・情報交換。家族への対応についての相談援助に努めている。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ターミナルケアについて見取りについての指針・体制を作成している。	○	大切な事であるので心掛けている。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ターミナルケアについて見取りについての指針・体制を作成している。		
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	退所時及び退所後の支援・相談の対応を行うよう努めている。		利用者退所後の家族の電話・来園時の協力についての説明。 また、利用者外でも相談者への相談は随時行っている。



項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>				
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個別対応に努めている	○	介護現場でのプライバシーの確保とは本人の考え方を理解した上で成り立つもので、まず信頼とコミュニケーションに努めている。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	自身での決断。援助時の促しに努めている		希望を言える環境づくりに努めている
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者本位の体制を大切にしている	○	希望にそって支援に努めている。見落としの無い様カンファレンスなどを通じて話合っている。
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	希望をかなえる事を極力重視し、その為の声かけが最も重要だと考え努めている。		
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	イベント時の(誕生日等)好みへの声かけや普段の生活のなかの準備・片づけをしてもらうことで利用者と共に行っている。	○	献立表により食事は対応。ただし準備への参加など協力願っている。 一緒に献立を立てる取り組みを始めている
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	行える範囲で行っている。		嗜好品の購入は、家族対応や職員と共に購入を行っている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄のパターン表の作成やトイレの誘導の声かけにより対応している。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は決まっているが、希望により対応を行うよう努めている。	○	個別入浴の徹底
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	就寝時間の定めを押し付けず、自身の生活パターンに合わせている		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	その方の趣味、嗜好に合わせて、援助を行うよう努めている。	○	たとえば。歌が好き・嫌い個性により援助。家事が好き・嫌いにより援助をするようにしている
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人管理できる方については、自身で所持してもらい。難しい方の場合でも買い物時にお財布よりお金を出し清算していただくようにしている。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	喫茶店の利用、散歩や買い物が主となるが、外出については職員が共に出かける		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	イベントや家族対応の外出の自由により対応をしている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の利用をしてもらっている。また、手紙については代行で投函する場合もあるが、郵便局へ行く場合もある。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	ロビーの開放及び居室での対応の自由。また来園者に対する訪問の自由に対し説明も行っている。		外泊も可
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	自身での対応について。援助時の促しに努めている。そのため、身体拘束するしない以前に自身でする援助に重きをおいている。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	逆に利用者自身に鍵を持ってもらっている(自身の居室の鍵)また、玄関については、観光地(人通りが激しいことから)のため不審者の侵入が逆に懸念されている。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	状況把握・空間把握について、指導している。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	生活の中での危険物は多々あり、片付けるものは片付ける、出しておく物は危険の無いようにするよう努めている。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	消防局の緊急対応についての講習を受けている職員を配置しており、またマニュアルにより事故防止策を講じている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	消防局の緊急対応についての講習を受けている職員を配置しており、またマニュアルにより事故防止策を講じている。連絡網(緊急連絡先)の準備と対策マニュアルの作成。	○	また、現在消防訓練において今後、講習を検討している。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災訓練(避難誘導・初期消火訓練)を利用者参加で行っている		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	入居時、介護計画説明時等、普段から説明を行うよう努めている		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	声かけ、巡回を必ず行うよう努めている 引継ぎ、ノートにて状況の変化についての報告を職員間で行っている。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	記録物、服薬・塗布薬の個別化と表作成により対応している。		受診記録と塗布表 の作成
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	記録物、服薬・塗布薬の個別化と表作成により対応している。		排泄表と排便チェック の作成
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	MC ・ NC ・ 歯科受診により対応している		MC＝モーニングケア NC＝ナイトケア チェック表の作成

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	チェック表の作成・個別の対応についての把握により対応している	○	BTチェック表 の作成。声掛けで日々、徹するよう努めている。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染予防マニュアルの作成。及びポスター・掲示物の掲示		予防接種の実施
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材管理(購入と廃棄)に努めている。ポスター・掲示物の掲示 賞味期限切れの使用を予防する為、物によっては、使用日を記入し管理に努めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周りの整備。また園芸を行っている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	環境整備に努めている。	○	毎週、花が届く為、レクを兼ねて利用者にいけていただいている。季節の花が飾られている。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	縁側などの利用も自由であり、居室により自身の生活の確保に努めている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた物の持込をうながし、レイアウトは極力利用者及び家族に委ねるよう努めている	○	本人の身体能力などにあわせレイアウト又は部屋変え等行っている。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがなくよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	窓の開け閉め、空調調節に努め、環境整備をするよう努めている		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりの設置。及びスノコ等による高さの調節等に努めている		階段利用のため階段設備については職員による付き添いを行うことで安全確保に努めている
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	理解できる状況・環境づくりに努めている	○	まだまだ出来ることは多々あるため、日々話し合いが今後必要。
87	○建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	散歩・園芸により、周囲の環境を生かせるよう努めている		地域資源を活用することも必要だと考えている

V. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている		①ほぼ全ての家族と
		○	②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
			②少しずつ増えている
		○	③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている		①ほぼ全ての職員が
		○	②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

利用者が日々、笑顔の時間が長く個々の思いを介護者が考慮し、日々の介護に努めている。